

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	宗教と「こころ」Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0069		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般科目		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書：(a)『倫理』検定教科書 (b)『コンプレックス』（岩波新書）（ともに、3年時購入済）/教材：プリント（配布プリントに沿って授業を進める。）						
担当教員	垂谷 茂弘						
到達目標							
⑥ 社会における宗教が果たす役割について理解できる。 ⑦ 仏教思想の現代的意義を説明できる。 ⑧ 臨床心理学の役割について理解できる。 ⑨ 価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。 ⑩ 各人のよりよき生について考えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	社会における宗教が果たす役割について理解できる。		社会における宗教が果たす役割のポイントについて理解できる。		社会における宗教が果たす役割について理解できない。		
評価項目2	仏教思想の現代的意義を説明できる。		仏教思想の現代的意義を理解できる。		仏教思想の現代的意義を理解できない。		
評価項目3	臨床心理学の役割について理解できる。		臨床心理学の具体例について理解できる。		臨床心理学の役割について理解できない。		
評価項目4	価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。		様々な生き方について理解できる。		価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できない。		
評価項目5	各人のよりよき生について考えることができる。		他者のよりよき生について理解できる。		よりよき生という考えが理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
(E) (F)							
教育方法等							
概要	本講義では、根本テーマとして「癒し」を考察する。それによって、日常生活に存在する矛盾、理不尽から、「いのち」の根元につきまとう「喪失」の苦悩にいたるまで、人間生活全般に及ぶ「cura animarum（魂への配慮、魂の救済、司牧、牧会）」を問うことが可能となる。 In this course, we consider "healing" as a fundamental theme on human nature. The aim is to understand "a cure of souls(Seelsorge)" ranging from unreasonablenesses or contradictions in our daily life to the fundamental question of "loss" in life itself.						
授業の進め方・方法	配布する資料・レジュメに沿って説明する。時事ニュースや日常の出来事に関連づけるべく、現代社会で発生している諸事象・諸問題の時代背景や「近代」を批判する現代思想を説明・解説する。学生諸君の方でも、日々の生活見つめ直し、抱いた疑問を授業にフィードバックさせてほしい。 1. 授業のはじめに、前回の授業内容とその日の学習事項・ポイントを確認する。 2. 「自己理解」に役立つよう、様々な問題を自分に引きつけて自らの問題として考え講義を受ける。 3. 学生各人は、質問に積極的に答えるとともに、自ら積極的に質問し、授業に主体的に参加するように努める。						
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 定期試験の成績（60％）と小論文（40％）で評価する。小論文は、前・後期それぞれ、前期中間前、冬休み明けに提出する。なお、到達目標の各項目について、キーワードを自由に使いこなす思索力を到達度評価の基準とする。 【学生へのメッセージ】 人間精神を巡る科学の展開は錯綜した歴史をもっている。学としての心理学も脳科学もけっして長い歴史をもつわけではない。しかし、現代において、ゲーム的気張らしから深刻な生の意味の喪失や異常にみえる犯罪にいたるまで、幅広い領域で心理学も脳科学も話題にのぼることが多くなった。その勢力範囲の拡大はとどまるどころを知らないかのようである。他方、伝統宗教が、文化遺産、観光、法要の一端としてではなく、生誕から死に至るまで、人間生活全般に関わることは少なくなった。各地域の寺社が、その土地、土地の文化共同体の中心であったことは、遠い昔の物語でしかない。本講義で、「癒し」の考察によって、宗教と心理（学）の根元的な相互内在的關係（文化流行とは区別された）「スピリチュアリティ（霊性）」の意味を考え、伝統宗教衰退と心理学や脳科学流行の背景に、何があるかを探りたい。社会学的、歴史的背景にまで及ぶ幅広い領域を考察するが、つねに自分を取り巻く身近な心理現象と無関係ではないことを念頭に置き、自分自身の身に引きつけて、自分自身の問題として考えていってもらえれば、興味は尽きることはないはずである。 研究室 B棟3階 (B-307) 内線電話 8909 e-mail: tarutani@maizuru-ct.ac.jp （アットマークは@に変えること。）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	spiritualityの問題 - (a)ターミナルケア、訳語変遷、宗教との差		社会における宗教が果たす役割について理解できる。臨床心理学の役割について理解できる。		
		2週	(b)WHO改正案の諸問題（その背景と国際的比較検討の調査結果）		社会における宗教が果たす役割について理解できる。臨床心理学の役割について理解できる。価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。		
		3週	言語の問題 - ソシユール-		現代社会がかかえる諸問題の現状について理解できる。現代思想について理解できる。価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。		
		4週	仏教思想史		社会における宗教が果たす役割について理解できる。仏教思想の現代的意義を説明できる。各人のよりよき生について考えることができる。		

		5週	仏教思想と「開け」	現代思想について理解できる。社会における宗教が果たす役割について理解できる。 仏教思想の現代的意義を説明できる。 各人のよりよき生について考えることができる。
		6週	心理療法における「癒し」の実際 - (a)不登校の事例	臨床心理学の役割について理解できる。
		7週	(b)「癒し」の社会的側面の確認	現代社会がかかえる諸問題の現状について理解できる。 臨床心理学の役割について理解できる。
		8週		
	4thQ	9週	(c)トリックスター（神話的類型）	社会における宗教が果たす役割について理解できる。 臨床心理学の役割について理解できる。
		10週	(d)死と実存思想	現代思想について理解できる。社会における宗教が果たす役割について理解できる。
		11週	(e)現代社会における神話と儀式	社会における宗教が果たす役割について理解できる。 臨床心理学の役割について理解できる。
		12週	(f)「癒し」の「宗教性」の考察	現代社会における既成宗教の衰弱や諸問題を説明することができる。 社会における宗教が果たす役割について理解できる。 臨床心理学の役割について理解できる。
		13週	(g)「癒し」の「全体性」の考察	社会における宗教が果たす役割について理解できる。 臨床心理学の役割について理解できる。 価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。
		14週	歪んだ「癒し」－自己啓発セミナー、マインド・コントロール	現代社会における既成宗教の衰弱や諸問題を説明することができる。 心理学や脳ブームに内蔵する問題点を説明することができる。 現代社会がかかえる諸問題の現状について理解できる。
		15週	「開け」としての変性意識状態を考える	価値観の相対化した時代において、様々な生き方について理解できる。 各人のよりよき生について考えることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任を説明できる。	2	前1,前2,前4,前9
			説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	1	
			技術者を目指す者として、社会での行動規範としての技術者倫理を理解し、問題への適切な対応力(どのように問題を捉え、考え、行動するか)を身に付けて、課題解決のプロセスを実践できる。	1	
			情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	1	前1
			環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	1	前3,前4,前7,前9,前10,後1
			国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	1	前4
			社会性、社会的責任、コンプライアンスが強く求められている時代の変化の中で、技術者として信用失墜の禁止と公益の確保が考慮することができる。	1	
			全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	1	
		情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	1	
		技術史	歴史の大きな流れの中で、科学技術が社会に与えた影響を理解し、自らの果たしていく役割や責任を理解できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	1	
			相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	1	
			事象の本質を要約・整理し、構造化(誰が見てもわかりやすく)できる。	2	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。	2	
			ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。	3	
			学生であっても社会全体を構成している一員としての意識を持って、行動することができる。	1	

				市民として社会の一員であることを理解し、社会に大きなマイナス影響を及ぼす行為を戒める。人間性・教養、モラルなど、社会的・地球的観点から物事を考えることができる。	1	
				法令を理解し遵守する。基本的人権について理解し、他者のおかれている状況を理解することができる。自分が関係している技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者が社会に負っている責任を認識している。	1	
				未来の多くの可能性から技術の発展と持続的社会の在り方を理解し、自らのキャリアを考えることができる。	1	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	20	0	60
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	0	20	0	40